



関西大学

関西大学 経済・政治研究所
平成27年度 第4回 公開セミナー
[大阪の社会労働運動と政治経済研究班]



15 ドルを求めて闘う (Fight for \$15)

米国各地で相次ぐ最低賃金の大幅引き上げは、
いかにして実現されているのか？

いま、米国の各都市で最低賃金の引き上げが相次いでいる。西海岸のサンフランシスコ市、シアトル市、ロサンゼルス市は、最低賃金を 15 ドル（約 1800 円）に段階的に引き上げていくことを決定した。全米に適用される連邦最低賃金は 7.25 ドル（約 870 円）、大阪府の最低賃金は 858 円である。15 ドルは、これらの 2 倍に相当する高水準である。米国では、どのような課題をのりこえて、大幅な最低賃金の引き上げが可能になったのか。そこには、格差や貧困を不正義とみなし、その是正を要求する社会正義や社会変革を掲げた労働運動の存在がある。最低賃金引き上げの動向とそれを推進する労働運動について報告する。

日 時

平成 28 年 1 月 18 日(月)

16:00~17:30

場 所

関西大学千里山キャンパス

児島惟謙館2階第2会議室

報 告

高須 裕彦 氏

一橋大学大学院社会学研究科

フェアレイバー研究教育センター・プロジェクトディレクター

司 会

植村 邦彦

大阪の社会労働運動と政治経済研究班主幹、経済学部教授

聴講無料・事前申込不要

【お問い合わせ先】

関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

TEL 06-6368-1179 / FAX 06-6339-7721

E-Mail keiseiken@ml.kandai.jp

経済・政治研究所ホームページ

<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/index.html>

